

◆ 2019年度活動報告シート ◆

団体名：活！入間川・隣組

22A-16

代表者：代表 田中淳一

URL :

1. 活動が必要とされた状況

かつて狭山市の花「ツツジ」の名所だった狭山市入間川の稲荷山公園見晴台付近の斜面緑地は、地元の憩いの場であったが、その後荒廃が進み、手つかずの状態に放置されていた。荒れるのを見かねた地域のボランティアである当団体を中心にかつての姿を取り戻すため、清掃活動を実施することとなった。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

稲荷山斜面緑地の清掃活動として、普段より斜面に自生し、ヤマツツジの生育に影響を与えているツル性の植物の除去作業を長年地道に少人数で実施しているが、この活動に加え同斜面緑地では、カタクリやヤマユリが自生しており、これらを保全するために「カタクリの会」と「ヤマユリの会」が結成されており、協働によりそれぞれ清掃活動を定期的に行っている。令和2年2月1日には、すべての保全団体が一斉に清掃活動を実施し50名ちかくが参加した。



3. 活動の成果

以前の荒れ果てた斜面は見違えるようになり、現在は雑草も全く生えてない。助成していただき、清掃器具等が整えられ、効率的に作業ができるようになった。ヤマツツジを觀賞する人が訪れ易くなる環境が整った。また、地元ケーブルテレビでヤマツツジが、NHKでヤマユリが放映され、多くの人が觀賞に訪れるようになった。

4. 今後に残された課題

今後も、継続的に環境を保全するためには、清掃活動に加え、ツツジの保全のための取り組みも必要となる。